

# 地球環境に配慮した毛利研究室ゼミテンプレート

立命 太郎

**概要**：近年、地球の環境破壊が問題となっている。限りある資源を有効に活用するため、ペーパレスを推進する企業も増え始めている。我が毛利研究室でも、ゼミ資料の紙の使用量を抑制する動きが見られている。そこで、表紙を無くした新たなゼミテンプレートの作成を行った。本稿では、新しいゼミテンプレートと付録として添付した Makefile の使用法について述べる。

## 1. はじめに

本稿では、だがつなりそしてかもしれないテンプレートのディレクトリ構成と Makefile の概要や画像の挿入方法、参考文献の書き方について述べる。資料をチェックしてもらうときは、本ファイル 8 行目の \setstretch{1.5} のコメントを外すとチェックする側はありがたいです。LaTeX のコンパイル時にエラーが出る or 文字化けする場合は、文字コードが原因の可能性が高いです。テンプレートは UTF-8 にしていますが、各自環境に合わせて設定してください。

## 2. ディレクトリ構成

ゼミテンプレートの構成は、以下に示す。画像は、fig フォルダへ入れる。本文は semi.tex に記述、参考文献は references.bib にそれぞれ記述する。

```

├── Makefile      % Makefile
├── eco.cls       % tex のフォーマット
├── fig/          % 画像保存用
|   ├── ex1.eps    % サンプル画像
|   └── ex2.pdf    % サンプル画像
├── ipsjunsrt bst % 参考文献のスタイル
├── jlisting.sty % ソースコード添付用
├── mediabb.sty  % pdf 変換用
├── references.bib % 参考文献
├── semi.pdf     % 本文の PDF
└── semi.tex      % 本文

```

## 3. Makefile の概要

make help コマンドで使用方法が書いてあるので参考に。PDF にを作成するには、make pdf とすると作成できる。直接 PDF を表示するには、make view とすると Adobe Reader で開いてくれる。

BibTeX でエラーが出た人は、Makefile の 57 行目の

```
BIBTEX := pbibtex
```

の部分を pbibtex から jbibtex に変更してみて下さい。また、references.bib のファイルが存在しなければ、BibTeX は実行されません。なので、BibTeX を使いたくない人は、references.bib を削除する（そんな人は卒論で苦労するよ）。

文字コードを変更する場合は、make nkf-euc, make nkf-jis, make nkf-utf8 コマンドでそれぞれ変更できます。

LaTeX, BibTeX での log を最後にまとめて表示するには、Makefile の 45 行目の

```
JOIN-LOGS := no
```

を yes にして下さい。このオプションを利用するには ruby が必要です。

## 4. 参考文献の書き方

参考文献は、BibTeX を使う。たとえば、図 1 の内容を含むファイル (references.bib) を作り、\cite{etx} の様に本文で参照 [1] し、pbibtex コマンドで参考文献リストを作成します。論文データベースには、必ず bibtex 形式というのが用意されているはず。その内容をコピーすれば基本は大丈夫なはず（必ずチェックする）。参考文献のスタイルは、情報処理学会の出現順のものを使用しています。

## 5. 図の挿入方法

### 5.1 Tgif や OpenOffice で作る場合

Tgif や OpenOffice で作る場合は、eps で出力して、includegraphics で挿入しましょう（例：図 2）。

### 5.2 PowerPoint で作る場合

複雑な図を作るときは、Microsoft PowerPoint や Visio がおすすめ。図を PDF でエクスポートし、それを TeX で表示できます（例：図 3）。PDF を作成時にフォントが埋め込まれているかを確認する。場合によっては、図のフォントが文字化けがあるので注意。

```
@INPROCEEDINGS{etcx,
  author = {Douglas S. J. De Couto and Daniel Aguayo and John C. Bicket and Robert Morris},
  title = {A high-throughput path metric for multi-hop wireless routing},
  booktitle = {Proc. of ACM MobiCom '03},
  year = {2003},
  pages = {134-146}
}
```

図 1 BibTeX の記述例

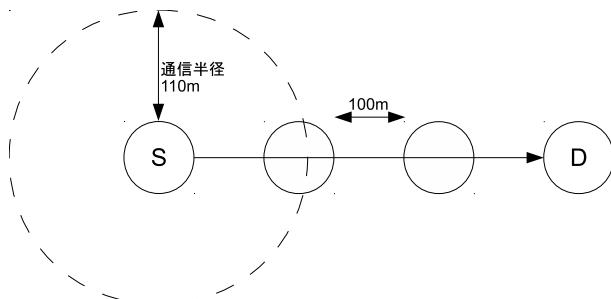
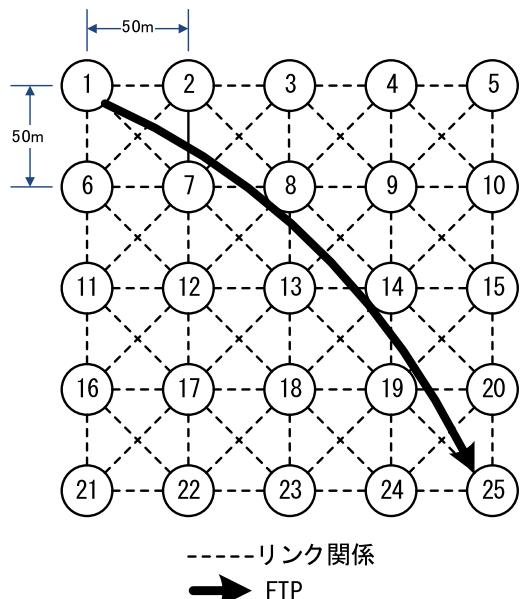


図 2 Open Office で作成した図



### 5.3 svg ファイル

svg を貼るときは includesvg コマンドを使います（例：図 4）。

#### 参考文献

- [1] 偉い人：すごい内容, <http://example.com> (2022).



図 4 svg ファイル